

## 助成事業等実績報告書

令和\_\_年\_\_月\_\_日

神戸国際コミュニティセンター 理事長 宛

住 所 神戸市 \_\_\_\_\_

団 体 名 \_\_\_\_\_

代表者名 \_\_\_\_\_

令和\_\_年\_\_月\_\_日付 第\_\_号をもって交付決定のあった下記事業について、  
その実績を報告します。

### 記

助成事業の名称	地域日本語教室運営助成金		
助成事業等の期間	開始年月日	( 令和__年__月__日 )	
		令和__年__月__日	
	完了年月日	( 令和__年__月__日 )	
		令和__年__月__日	
助成金の額	( _____ 円 )		
	円		
添付書類	・ (様式8-1) 事業報告書 ・ 助成事業等に係る収支決算書又はこれに代わる書類		

(注) 交付決定内容を上段の( )内に記入, 実績を下段に記入する。

# 事業報告書

## 1. 申請者情報

団 体 名	
代 表 者 名	
所 在 地	〒 神戸市
連 絡 先	担 当 者 名 :
	電 話 :
	メールアドレス :

## 2. 事業概要 ※複数事業を行っている場合はそれぞれについて以下項目を記載ください。

事 業 内 容 ・目的 ・概要 ・対象者 ・スケジュール ・使用教材 ・その他	
実施日時・曜日・回数等	曜日 : ~ : 全 回
場 所	
日本語以外の活動 (あれば)	
受 講 料	
受講の募集方法	
その他特記事項	

## 3. 事業の実施体制

(1) 日本語教室コーディネーター (配置している場合に記載)

	名前	文化庁の実施する地域日本語教育コーディネーター研修の受講年	KICCの実施する日本語教室コーディネーター研修の受講年
1			
2			
3			

(2) 日本語ボランティアの人数

登録者数	左記のうち、交付要綱第2条に定める講座等を受講しているものの人数
	(     %) ※

令和     年度末までに受講予定  
 ※(助成を受け始めた年度から5年以内に、登録者数の過半数が受講すること)

#### 4. 今年度実施状況

(1) 日本語教室の実施状況と計画 (4/1~2/28)

<b>今年度</b>
日本語教室の実施数*1
(うち、夜間実施数*2:
上記教室における実学習者数*3
(うち、夜間受講者数*2:
上記教室における延べ学習者数
人
(うち、夜間受講者数*2: 人 )

\*1 1時間半以上の学習時間であること

\*2 18時以降の開催であること

\*3 延べ人数ではなく、頭数を記入すること

(2) 前年度学習者に関する状況 ※今年度の状況について実数又は概ねの割合を記載すること

国 籍	
居住市区町村	
在留資格	
職 業	

例)

国 籍	中国 (10名)、ベトナム (5名)
居住市区町村	灘区 (7名)、東灘区 (5名)、中央区 (2名)、●●市 (1名)
在留資格	留学 (9名)、技能実習 (3名)、家族滞在 (2名)、 技術・人文知識・国際業務 (1名)
職 業	日本語学校学生 (7名)、会社員 (4名)、大学生 (2名)、 専業主婦・夫 (2名)

5. 助成金申請額の算定（該当する事業についてのみ記載ください。）

(1) 日本語教室コーディネーターの配置に係る事業（実績）

	謝金単価(①) (上限1,600円/h)	稼働時間(②) (1日あたり)	交通費(③) (往復)	稼働日数(④)	計 (①×②+③)×④
コーディネーター1			円		円
	※交通費… 駅⇄		駅間(片道 )		
コーディネーター2			円		円
	※交通費… 駅⇄		駅間(片道 )		
コーディネーター3			円		円
	※交通費… 駅⇄		駅間(片道 )		
コーディネーター事業所要経費(⑤)					円

(2) 夜間の教室開催に係る事業（実績）

	謝金単価(⑥) (上限900円/h)	稼働時間(⑦) (1日あたり)	交通費(⑧) (往復)	稼働日数(⑨)	計 (⑥×⑦+⑧)×⑨
謝金対象1			円		円
	※交通費… 駅⇄		駅間(片道 )		
謝金対象2			円		円
	※交通費… 駅⇄		駅間(片道 )		
謝金対象3			円		円
	※交通費… 駅⇄		駅間(片道 )		
		会場費 (貸し会議室のみ)	開催回数	計	
		会場1	/回		円
		会場2	/回		円
		会場3	/回		円
夜間教室事業所要経費(⑩)					円

(3) 助成金申請額合計

	コーディネーター事業 (⑤又は45万のうち、低い ほうの金額)	夜間教室事業 (⑩又は35万のうち、低い ほうの金額)	申請額合計
申請額	円	円	円

6. その他助成金等の活用状況（実績または見込み）

※本事業について、その他公的館などから助成金などを受けているときは、その用途等を記載すること

名前	事業名	用途（事業概要・対象経費） *本事業と用途が重複しないこと

## 収 支 決 算 書

1. 収入の部

科目	決算額	摘要
計	円	

2. 支出の部

科目	決算額	摘要
計	円	

(注)収支の計が一致するよう入力すること。